

メディア社会を生きる

私たちは新聞やテレビ、インターネットなど多くのメディアに囲まれて生活しています。メディアが伝える「情報」は、私たちの意識や価値観をかたちづくるのに、大きな影響力をもっています。

メディアが送り出すメッセージを自分らしく読み解く力、すなわちメディア・リテラシーについて学び、メディアのあり方を考えます。

◆日時：2001年2月3日(土)～3月10日(土)

毎週土曜日 午後2時～4時 全6回 (2月10日は午後2時～4時30分)

◆対象：大阪市内在住または在勤・在学の方

回	日程	テーマ	講師
1	2月3日(土)	メディアを読み解く力とは	ビデオドック代表 田上 時子
2	2月10日(土)	<ワークショップ①> ～テレビCMが伝えるメッセージ～	コマーシャルの中の男女役割を 問い直す会 吉田 清彦
3	2月17日(土)	<ワークショップ②> ～新聞をジェンダーの視点で読む～	女のスペース「フリーク」 和田 明子
4	2月24日(土)	自分の住むまち再発見 ～地域から発信するミニコミづくり～	『ザ・淀川』『ザ・おおさか』編集長 南野 佳代子
5	3月3日(土)	市民参加のメディアをめざして ～情報発信力を高めよう～	ビデオ制作者 下之坊 修子
6	3月10日(土) <公開セミナー>	女性の参加がメディアを変える ～新聞社の現場から～	毎日新聞学芸部副部長 畑 律江